

ダナン国際空港と友好空港提携覚書を締結しました

中部国際空港株式会社は、ダナン国際空港(ベトナム・ダナン市)との間で、友好空港提携の覚書を締結しました。

ダナン国際空港は、近年ビーチリゾート、コンベンション都市として急速に発展するベトナム中部・ダナン市に位置し、東アジア各国からの航空路線の新規開設、増便により海外からの観光客による利用が大幅に増加しており、日本からも、知名度の拡がりとともに、訪問客が増えつつあります。

当社では、これまで中部地域からダナン及びベトナム中部を訪れるお客様の開拓を目的とした共同路線誘致活動を通じてダナン国際空港と友好関係を構築してきました。このたびの覚書締結により、両空港間の連携を一層強化し、早期に定期直行便を実現し、今後のベトナムと日本の両中部地域間の交流拡大につなげることを目指してまいります。

1. 友好空港提携覚書について

■名称 : ダナン国際空港と中部国際空港の友好空港提携覚書

■署名者 : ダナン国際空港【ベトナム空港公社ダナン国際空港 空港長 レー・スアン・トゥン】
中部国際空港【中部国際空港株式会社 代表取締役社長 友添雅直】

■提携内容:

1. 路線誘致戦略・・・ 航空会社、旅行会社など双方地域の関係団体に対し、共同で関係強化に取り組み、チャーター便の拡充、直行旅客便の実現のため、共同プロモーション活動を行う。
2. 旅客需要喚起・・・ 双方地域での需要喚起戦略の促進や、観光及びビジネス分野のプロモーションについて、共同で関係団体との関係構築と、相互に活動の支援を行う。

2. 締結式について

■開催日時 : 2019年2月20日(火) 13:00~13:40

■場所 : 中部国際空港 旅客ターミナルビル4階 イベントプラザ



(締結式の様子)

<以下ご参考>

◆中部国際空港の姉妹・友好空港

今回締結したダナン国際空港を含めて5空港となります。

ミュンヘン国際空港(ドイツ・2005年2月)、台中国際空港(台湾・2017年4月)

ペインフィールド空港(米国・2017年4月)、シアトル・タコマ国際空港(米国・2018年10月)

◆ベトナム・ダナン市について

- ・人口約100万人のベトナム中部最大の都市
- ・近年ビーチリゾートとしての開発が進み、欧米やアジアのブランドホテルが多く進出。2017年APECの開催都市としても注目され、国際的なビーチリゾート・コンベンション都市を目指している。
- ・周辺のパエ、ホイアン、ミーソンという世界遺産も注目されている。
- ・外国からの訪問者は年間約270万人(2017年実績)。直行便の乗り入れが多い韓国から約81万人、中国から約43万人、日本からは約10.2万人。

◆ダナン国際空港について

- ・利用形態 : ベトナム空軍機と民用機の共用
- ・管理 : ベトナム空港公社 ※同社はダナンを含む国内23空港を所有・管理
- ・敷地面積 : 820ha (うち、軍用670ha、民用150ha)
- ・滑走路 : 2本 (3,500m + 3,048m)
- ・ターミナルビル: 2棟 (Terminal1 国内線用・2011年開業、 Terminal2 国際線用・2017年開業)
- ・年間旅客数 : 1,079万人 (2017年実績)
- ・就航便 : 日本との直行便は、ベトナム航空(成田=ダナン、関空=ダナン、それぞれ週7便) 中部国際空港との間では、2017年末以降、ベトナム航空2便ならびにベトジェット4便のチャーター便運航実績あり。